ドレスイン　自動紙折り機

取扱い説明書

MA190

≪目次≫

1. 使用上の注意　P.1
2. 機械の名称と機能　P.2
3. 機械のセット方法　P.3
4. 用紙の折り方　Ⅰ・Ⅱ　P.4･5
5. 用紙の流れ･縦ずれ調整方法　P.6
6. 用紙向き･給紙調整方法　P.7
7. 用紙のさばき方　P.8
8. 給紙ローラー･抑止板交換方法　P.9
9. トラブルⅠ　P.10
10. トラブルⅡ　P.11

株式会社 ドレスイン

〒188-0011　東京都西東京市田無町　4-22-12　　TEL　042-468-2401

JUST FOLDER 取扱説明書

自動紙折り機
MA190

安全にお使いいただくために

安全にお使い頂く為に、本製品をご使用になる前には必ずこの説明書をお読み下さい。
また、この説明書はいつでもご覧になれるところに、大切に保管して下さい。
この説明書は、お客様やまわりの人への危害、生命の安全、または財産への侵害を未然に防止する為に、危険をともなう操作やお取扱いに付いて警告表示や注意表示をおこなっています。
内容をよくご理解の上でお使い下さい。

警告

誤った取扱いにより、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。

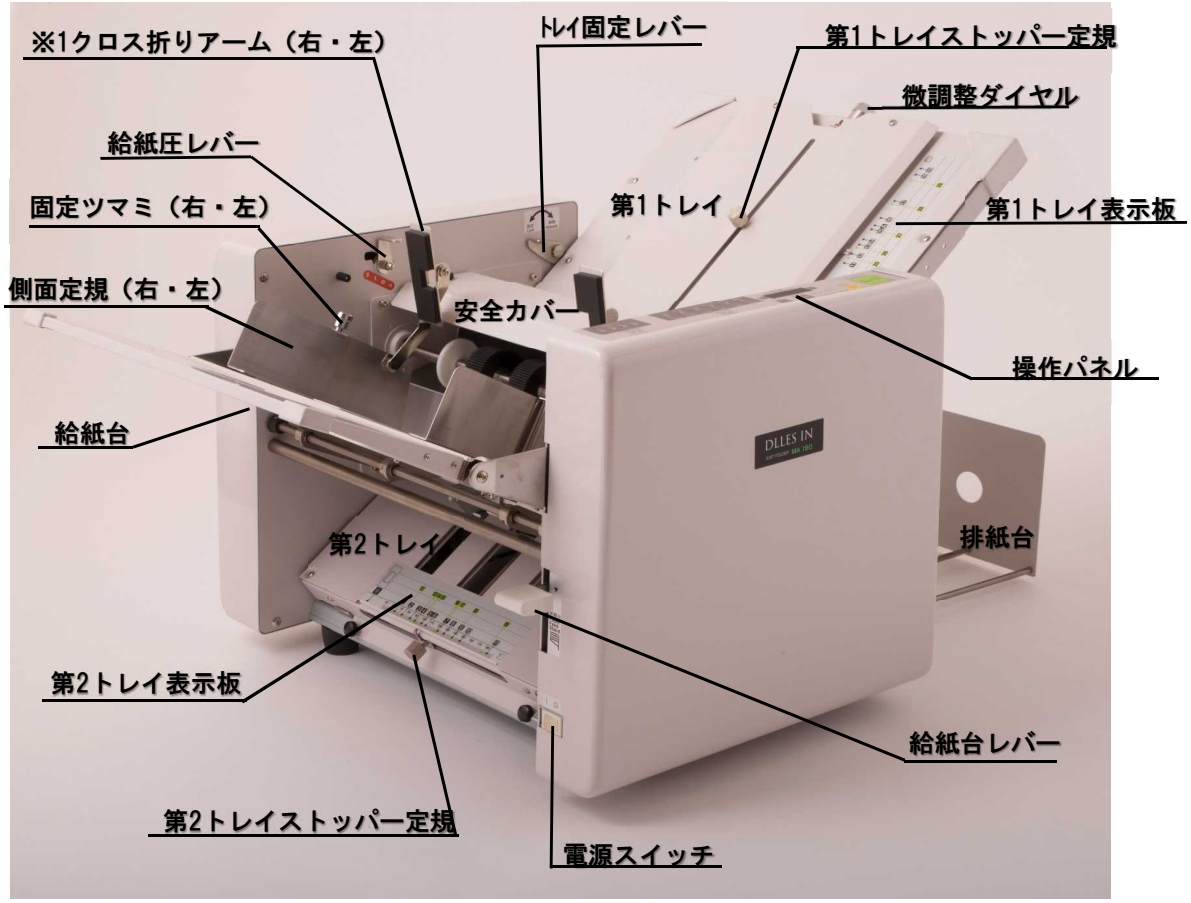
- 電源は交流100V以外で使用しないで下さい。必ずプラグ部分を持って抜き差しを行ってください。
  感電や発熱による発火の原因になります。
- 電源コードを傷つけたり、加工したり、延長コードの使用やタコ足配線はしないで下さい。
  感電や発熱による発火の原因になります。
- 製品の分解や改造は、絶対にしないで下さい。
  感電や発熱による発火、異常動作をしてけがをするなどの原因になります。
- 製品に水をかけたり、濡れた手で運転操作や電源プラグの抜き差しをしないで下さい。
  感電の原因になります。
- 製品の移動やお手入れは、電源プラグ、第1トレイを外して行ってください。
  第1トレイの落下などによって思わぬけがをしたり、感電の原因になります。

注意

誤った取扱いにより、人が障害を負う可能性および物質的障害の可能性が想定される内容を示しています。

- 長時間使用しない場合は、電源プラグを抜いて下さい。プラグは傷めないように保管して下さい。
  コードを引っ張って傷つけたり、コンセントの差し込みがゆるんだりホコリが付いていると、
  感電やショートの原因になります。
- 紙折りをおこなっている最中は、紙折りローラーや、紙折り途中の用紙に触れないで下さい。
  ローラーの回転に巻き込まれたり、高速で移動中の用紙にぶつかったりして、思わぬけがをする
  場合があります。
- 第1トレイを外した状態で電源を入れないで下さい。
  ローラーの回転に巻き込まれて、思わぬけがをする場合があります。
- 紙詰まりの解除や、紙折りローラーに近づいたり触ったりする場合は、必ず電源を切って下さい。
  急に動作を開始して、回転に巻き込まれたり、高速で移動中の用紙にぶつかったりして、
  思わぬけがをする場合があります。
- 動作中に、紙詰まりや異物によるロック状態や異常音が発生した場合は、
  速やかに電源を切って下さい。
  放置したままにしておきますと、本体の破損や寿命に影響したり、発熱したりして、
  思わぬ被害が発生する場合があります。
- 本体の設置は、十分な広さや強度の安定した机の上で行ってください。
  本体が落下してけがをしたり、本体製品を破損したりする場合があります。
- 本体は、強度のない机や不安定な机、せまい机、滑りやすい机に設置しないで下さい。
  本体部品にぶつかって思わぬけがをしたり、本体部品を破損したりする場合があります。
- 本体の上に物を置いたり、本体の上に物を吊るしたりしないで下さい。
  落下した物が、ローラーに巻き込まれて損害を与えたり、本体部品を破損したりする場合があります。
- 電源コードは本製品以外に使用しないで下さい。また、アース線を接続して使用して下さい。
  感電や破損の原因になる場合があります。また、危険防止や静電気の低減の為にも、
  アース線を必ず接地して使用して下さい。
- 直射日光の当たる場所や高温多湿の場所でのご使用は避けて下さい。
  本体に影響を与えたり、紙折り動作ができなかったり、本体の寿命に影響を与えたりする場合があります。
- 精密機器の近くでのご使用や、ラジオ、テレビの近くでのご使用は避けて下さい。
  電波障害により、周辺機器に影響を与える場合があります。

≪機械の名称と機能≫



※1　クロス折りとは、一度折り終わった紙をもう一度機械で折ること。
　　クロス折り以外ではクロス折りアームを上げて、または外してご使用下さい。

仕様

サイズ	最大A3（観音折り不可）　最小B7（二つ折り・観音折りのみ）
用紙容量	約500枚　上質紙64ｇ/㎡
紙質	更紙・上質紙・特定のアートコート紙（52.3～127.9ｇ/㎡）紙質によっては、紙折りできない場合があります
折り種類	二つ折り・四つ折り・内三つ折り・外三つ折り・観音折り・不定形折り・とじ込み折り・内三つプラス折り・外三つプラス折り
速度	B4二つ折り　50HZ　約100枚/分　60HZ　約110枚/分
消費電力	60W　電源容量　AC100
大きさ	収納時（本体）　430W×537D×390H　第１トレイ取外し
	使用時（本体）　850W×537D×480H
付属品	クロス折りアーム

● 仕様及び外観は、改良の為、予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承下さい。

≪機械のセット方法≫

1　給紙台を開く

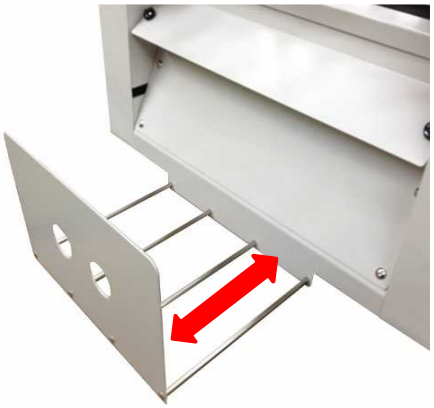
2　固定金具・テープを取り除く（3箇所）

3　第1トレイを挿入　上のピンに乗せて下のピンに差し込む

赤い線を合わせる

4　固定の方に移動する（両側2箇所）

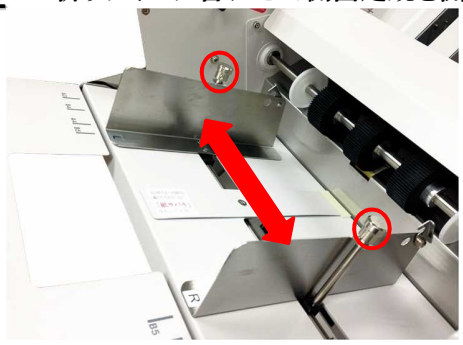
5　排紙台を開く



≪用紙の折り方・Ⅰ≫

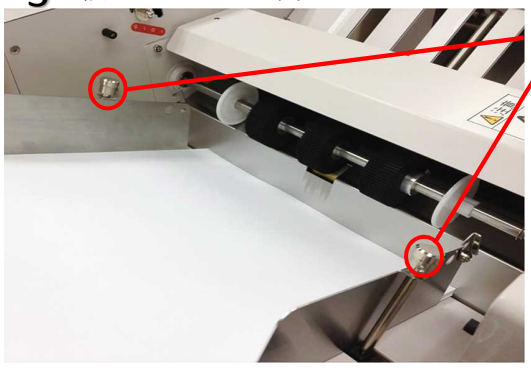
1 電源を入れる

2 折りサイズに合わせて側面定規を開く



※固定ツマミをゆるめ、側面定規の真ん中をつまんで
広げて下さい

3 紙をさばいてセットする



注意 セットしたら必ずネジを締めて下さい
斜め折れの原因になります

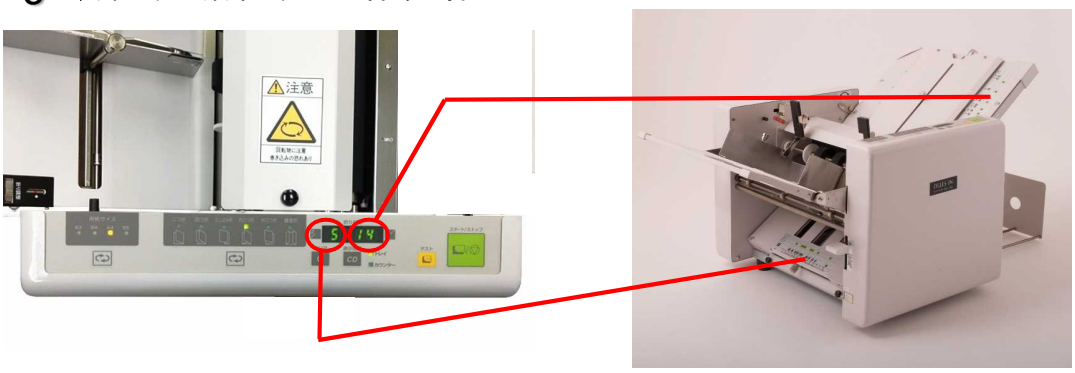
注意

○さばきが悪いと、用紙がまとめて入ってしまいます。
○用紙と側面定規に隙間があると、斜め折れの原因になります。
○折った用紙を再度折る場合は、必ずクロス折りアームで
用紙を押さえて下さい。
※クロス折りは両サイドに変形が発生しやすくなります。

4 給紙台レバーを下げる

5 ①用紙サイズ ②折り方を選択する
（ボタンを押すと横にスライド）

6 表示された数字とトレイの番号を合わせる



1. 表示された右側の数字と第1トレイの数字を合わせて下さい。
2. 表示された左側の数字と第2トレイの数字を合わせて下さい。

注意
※ ネジを軽くゆるめて移動して下さい。ゆるめ過ぎに注意して下さい。
※ 厚めの紙を折る場合は、ネジを固くしめて下さい。ゆるいと縦ズレの原因になります。

7　テストボタンを押す

8　スタート/ストップを押す

折れた用紙が1枚出てきます。
縦ズレがある場合は微調整ダイヤルで合わせて下さい

停止する場合は、スタート/ストップを押して下さい。

トレイ位置一覧表

用紙サイズ	B5		A4		B4		A3	
折り方	第2トレイ	第1トレイ	第2トレイ	第1トレイ	第2トレイ	第1トレイ	第2トレイ	第1トレイ
二つ折り	0	8	0	10	0	12	0	15
四つ折り	1	8	2	10	4	12	6	15
とじ込み折り	1	1	2	2	4	4	6	6
内三つ折り	3	11	5	14	7	17	9	19
外三つ折り	3	3	5	5	7	7	9	9
観音折り	8	13	10	16	11	18	―	―
内三つ折り＋			**5**	**A**	操作パネルには表示されません			
外三つ折り＋			**5**	**3**				

小さい用紙の折り寸法（cm）

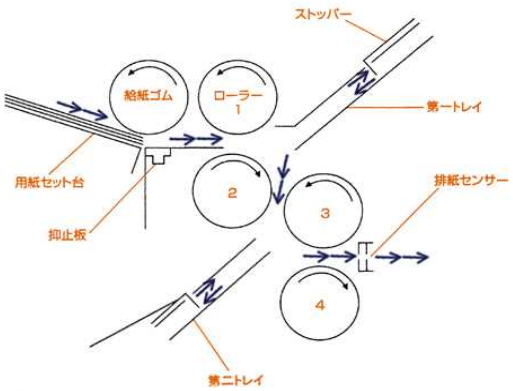
用紙サイズ	A5		A6		B6		B7	
折り方	第2トレイ	第1トレイ	第2トレイ	第1トレイ	第2トレイ	第1トレイ	第2トレイ	第1トレイ
二つ折り	0	10.5	0	7.5	0	9	0	6.5
四つ折り	5.2	10.5	×	×	4.5	9	×	×
とじ込み折り	5.2	5.2	×	×	4.5	4.5	×	×
内三つ折り	7	14	5	10	6	12	×	×
外三つ折り	7	7	5	5	6	6	×	×
観音折り	10.5	16	7.5	11.3	9	13.5	6.7	9.7
	A4の半分		A5の半分		B5の半分		B6の半分	

リーガル・レターサイズ　トレイ位置表

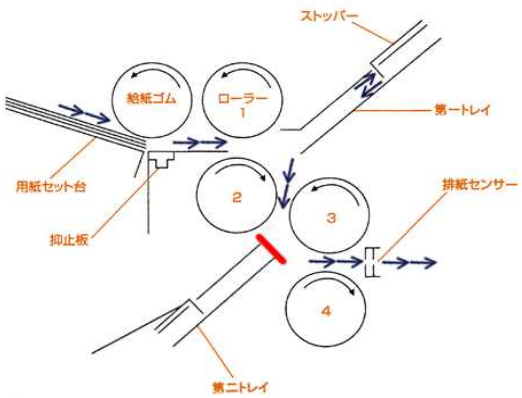
折り種類	トレイ	リーガルサイズ	レターサイズ
二つ折り	第１トレイ	25	24
	第2トレイ	0	0
四つ折り	第１トレイ	25	24
	第2トレイ	13	12
とじ込み折り	第１トレイ	21	20
	第2トレイ	13	12
内三つ折り	第１トレイ	28	26
	第2トレイ	17	15
外三つ折り	第１トレイ	23	22
	第2トレイ	16	14
観音折り	第１トレイ	29	27
	第2トレイ	19	18

≪用紙の流れ/縦ずれ調整方法≫

1　厚紙、薄紙によって折りのずれ(縦ずれ)が生じますので、微調整を行って下さい。
2　給紙台に用紙をセットする際の向きを確認下さい。
3　給紙ローラー、抑止板の消耗、汚れにより給紙圧、抑止圧の調整、または用紙の厚さによって調整を行って下さい。



四つ折り/三つ折り/とじ込み折り/観音折り

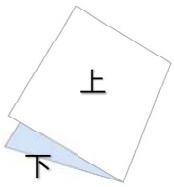


二つ折り

※1　折れた用紙が縦にずれた時の修正方法

〈二つ折り〉

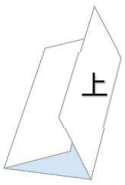
上が長い場合　①を回して②を下に

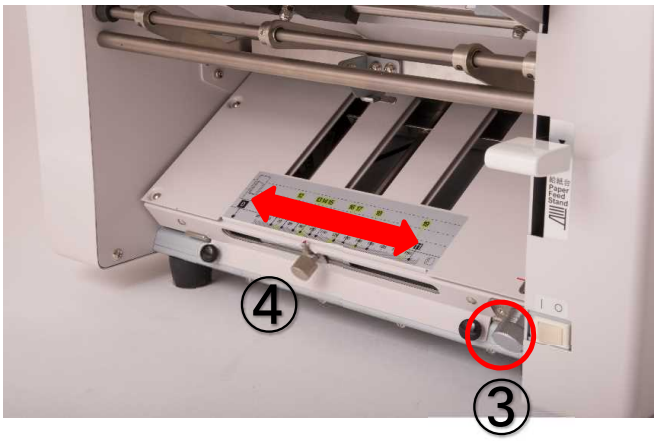


下が長い場合　①を回して②を上に

〈内三つ折り〉

上が長い場合　③を回して④を右に

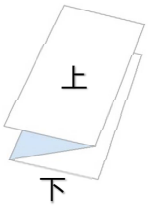




上が短い場合　①を回して②を上に

〈外三つ折り〉

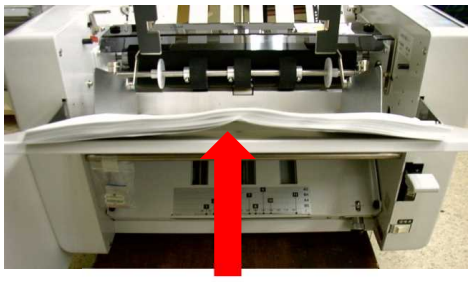
上下がずれている場合　①③を回して調整する



≪用紙向き/給紙調整方法≫

用紙の向き

セットする用紙の向き･･･テスト折りを行い、用紙の向きを確認します



印刷面（下側）

給紙台に印刷面を下にした場合

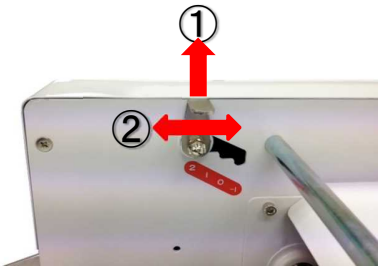
二つ折り	印刷面→外に折れる
内三つ折り	印刷面→外に折れる
外三つ折り	印刷面→内に折れる
四つ折り	印刷面→外に折れる

参考1･･･給紙台に印刷面を上にすると、上記の反対面になります。

参考2･･･内三つ折りで出したい面を外にしたい場合は印刷面を下にし、出したいところを給紙側にセットする。

参考3･･･外三つ折りで出したい面を外にしたい場合は、印刷面を上にし、出したいところを給紙の反対側にセットする。

※2　用紙がスリップし、中に入っていかない時の調整方法



①を上にあげ、左右に移動します。
★ スリップ現象が起きた場合、給紙圧を1段づつ上にあげて下さい。
★ ポジション変更の際は、必ず用紙を再度セットした後に切り替えて下さい。
★ 上記は、季節、湿気により変化します。

給紙圧の基本ポジション

薄め用紙	→	『-1』か『0』
コピー用紙	→	『0』か『1』
厚い用紙（クロス折り）	→	『2』もしくは

用紙切替レバー（スリップ防止切替レバー）をONに切替て下さい

レバーを切替える際は、給紙台レバーを下げた状態で切替えて下さい。
給紙台レバーが上がっている状態だと動きません。

※3　用紙がまとめて入ってしまう（重送）時の調整方法

抑止圧調整レバーはこの下側にあります

①を押して左右に移動します。
★ 抑止圧調整レバーで抑止圧を1段づつあげて下さい。『強』へ
★ さばき音が発生したり、用紙の先端にキズ･すれ等が発生した場合、抑止圧を1段づつ下げて下さい。

抑止圧の基本ポジション

薄め用紙	→	『3』か『4』
コピー用紙	→	『2』か『3』
厚い用紙	→	『2』か『1』

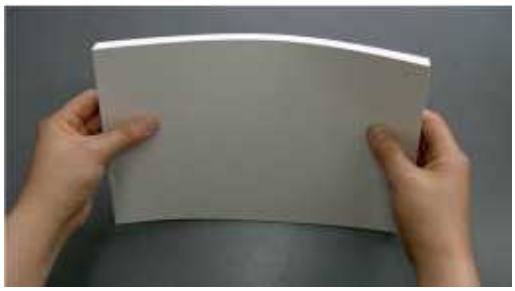
抑止圧調整レバー

これらの調整を行った際には、用紙をさばき直して，

再度セットし直して下さい。

《用紙のさばき方》

※スリップや重送などを防ぐため、用紙を折る前に必ず
「紙さばき」（用紙と用紙の間に空気を入れる作業を行って下さい。



① 用紙を重ねて持つ

② 両側から用紙を内側に曲げ、用紙の広がった部分を人差し指で押える

③ 人差し指で押えたまま、親指で内側の用紙を押える

④ 人差し指・親指で用紙を押えたまま用紙を立てると、左の写真のように用紙と用紙の間にすき間ができ、空気が入り、用紙がさばけます

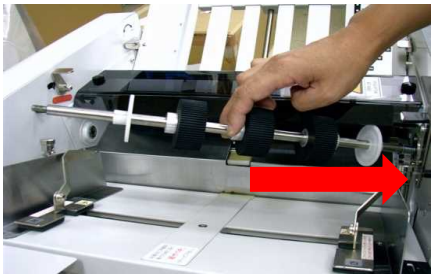
⑤ そのまま落しても用紙を揃える
逆側も同じように①～⑤の順でさばくとなお良い

≪給紙ローラー/抑止板交換方法≫

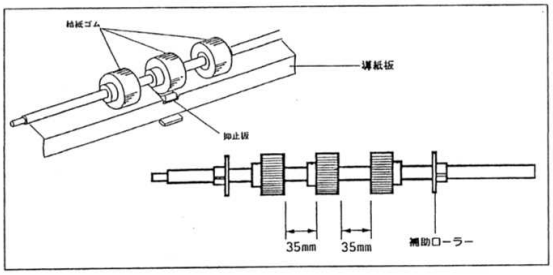
使用中にインク･紙粉等で汚れたり、摩耗します。定期的に給紙ローラー･抑止板を清掃するか、交換して下さい。

給紙ゴム交換方法

1　紙側定規を左右ともいっぱいに外側に広げて下さい。
2　給紙ローラー軸全体を矢印方向へ手前に押し、横にずらす。
3　補助ローラーを外し、給紙ローラー軸に固定しているネジをゆるめ
　　給紙ローラーを外す。

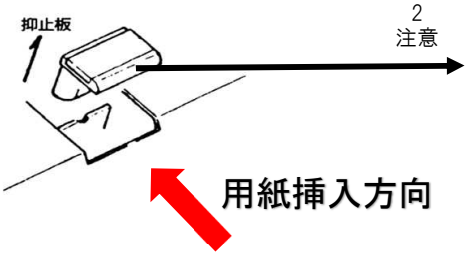


給紙ローラー取付時注意



1　上図の様に、給紙ローラーの向きを間違えないで下さい。
2　中央の給紙ローラーの固定は上図の通りです。導紙板の中央に真ん中の給紙ゴムがくる様に固定します。
3　給紙ローラーの位置は、中央の給紙ローラーとの間隔は35mmくらいの位置に取り付けます。
　　（給紙ローラー軸に印があります）

抑止板交換方法



1　給紙ローラー軸を取り外す。
2　給紙台レバーを下に下げると、抑止板が上にあがります。
注意　取付け向きを間違えないで下さい。
　　黄色面手前

消耗部品の寿命

給紙ローラー	約300,000枚～500,000枚（設置環境により異なります）
抑止板	約300,000枚～500,000枚（設置環境により異なります）
折りローラー	約1,000,000枚
モーター	約1,000,000枚
ベルト関係	約1,000,000枚
給紙ローラー軸	約500,000枚
ロールクラッチAssy	約500,000枚

保証期間中でも、上記部品交換に付きましては有償となります。

≪トラブルⅠ≫

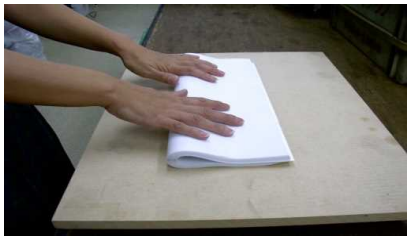
対処法につきましては、一工程毎にテスト折りをし、トラブルの解消の確認を願います

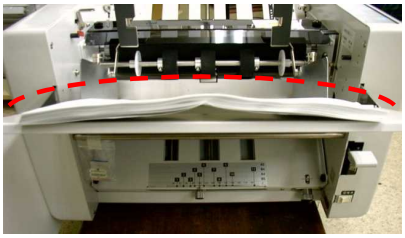
用紙がうまく中に入っていかない！

① 用紙を再度、さばいてセットし直して下さい
② 給紙ローラーの真ん中のゴムを拭いて下さい
用紙に付着しているパウダーでスリップ現象が発生する場合があります
③ 給紙圧を強くして下さい
④ 給紙ローラーを交換して下さい　（給紙ゴムの交換時期です）
※ 上記トラブルは厚い用紙に現象が発生しやすい

用紙がまとめて折れてしまう！

① 少なめにまとめた用紙を縦方向に二つに折って下さい

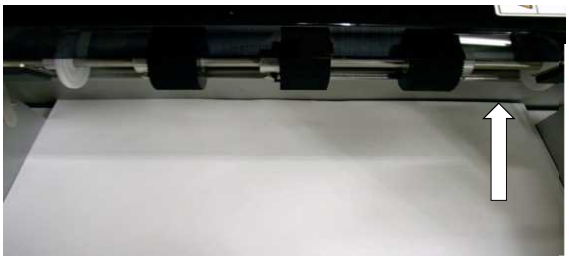




② 抑止板を拭いて下さい
③ 抑止圧を強くして下さい→スリップが発生の際は給紙圧を強くして下さい
④ 抑止板を交換して下さい

用紙が斜めに折れる！

① セットした用紙が紙側定規でしっかり固定されているか確認して下さい
② 用紙が水平になっているか確認して下さい→水平になる様、斜め折れ調整ダイヤルを回して下さい



✕ 右側に隙間ができている

※調整する際は、給紙台レバーを上げ、側面定規の固定ツマミを緩めて斜め折れ調整ダイヤルを回し、修正して下さい。
機械には『回転禁止』のシールが貼ってあります。

○ 隙間をなくす

≪トラブルⅡ≫

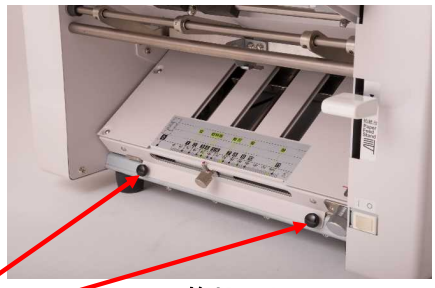
電源が入らない　！

ブレーカーを押して下さい。

紙詰まり　！

第1・第2トレイを外して下さい。

第1トレイ



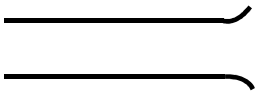
第2トレイ

黒ネジを外し、引っかかっている状態から上にあげ、引き出して下さい

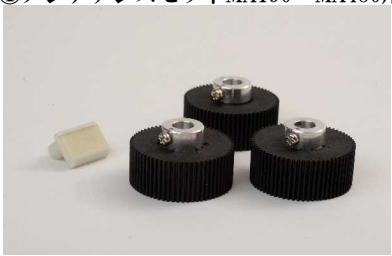
機械内部を確認し、紙を取り除いて下さい。

折れた用紙が変な折り方になる　！

折る前の用紙をご確認下さい。反っていたり、だれていませんか？



給紙側の用紙の変形を修正して下さい。

消耗品（別売品）	
①メンテナンスセットMA190～MA480用	②クリーニング液MA190～MA480用
	
給紙ローラー3個・抑止版1個セット 8,200円（税別） JANコード：4571473360503 ※MA190/270/290/450/480　共通品（MA150には使用不可）	NET　100cc 2,400円 ※MA190/270/290/450/480　共通品（MA150には使用不可）

販売元　株式会社 ドレスイン　〒188-0011 東京都西東京市田無町4-22-12

カスタマーサービスセンター　TEL 042-468-2401　受付時間　9:00～17:30
土曜・日曜・祝日・夏季・年末年始を除く